



研究主題 その子らしく学ぶ



令和8年度 ご挨拶

令和4年度より、研究主題『その子らしく学ぶ』を掲げ、目の前の子どもの学びの姿から、何ものにも代えがたいその子ならではの学びの可能性を探ってきました。

元来「学ぶ」ということは、人の目や損得を気にすることではなく、時に自分自身さえも忘れ、そこにある世界に夢中にかかわっていくことにより、成立するものだと考えます。さらに述べると我々人間は、そこにある世界に対し、試行錯誤し、他者とかかわり、よりよいものを創りあげていく。過去の文化を創りあげてきた先人たちの営みを見ても明らかです。

本研究『その子らしく学ぶ』は、文化を創りあげてきた先人たちのような、より人間らしい生き生きとした楽しい営みです。さらに、この営みは、個人だけではなく、他者とかかわりによって創り上げられていきます。言い換えれば、「その子らしい学び」は決して個人的なものではなく、他者との「学び合い」によって成立する協働的な営みと同じかもしれません。

本年度で本研究は一応の終止符を打ちます。しかし、今後も子どもたちにとってよりよい学びの場を保障するために、我々教師自身が自らを問い直し、研究を推進していく所存です。

ぜひ、公開授業や研究協議会等にご参加いただき、ご指導、ご助言をお願いいたします。本年度もよろしくお願いいたします。

校長 高木 勝利



教科部	氏名	共同研究者	助言者	協力委員	所属学校
国語	柴田 将弥	静岡大学教育学部 准教授 中村ともえ	島田市立島田第一中学校 校長 村田 一史	坂部 貴之	島田市立五和小学校
	青山 千秋			亀山 幸平	静岡市立美和小学校
	浅井 大輝			小沢 卓斗	函南町立西小学校
社会	飯塚 亮太	静岡大学教育学部 准教授 村井 大介 助教授 漆畑 俊晴	文部科学省初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 磯山 恭子	鈴木 翔太	沼津市立第五小学校
	澤戸 寛			荻島 聖	静岡市立富士見小学校
	川井 空鈴				
算数	田中 泰慈	静岡大学教育学部 教授 松元新一郎	静岡市立安西小学校 校長 高橋 文乃	今村 隆春	焼津市立小川中学校
	渡邊 賢人			栗田 勤	静岡市立長田西小学校
	浅井 将広			佐々木汐響	静岡市立中田小学校
理科	相馬 一允	静岡大学教育学部 教授 郡司 賀透 講師 新鶴田道也 助教授 坂部 正仁	静岡市立長田南小学校 教諭 森竹 高裕	河原崎智成	藤枝市立大洲小学校
	亀山 慎二			村瀬 涼介	富士市立岩松北小学校
	大箸 一貴			棚橋 俊介	静岡市立伝馬町小学校
生活	吉田 健人	静岡大学教育学部 教授 田宮 縁	焼津市立黒石小学校 教頭 池谷 範子	福井 祐香	藤枝市立高洲南小学校
	住田 亮			府川 知樹	静岡市立清水三保第一小学校
音楽	赤堀 真理	静岡大学教育学部 教授 長谷川慶岳 准教授 後藤友香理	文部科学省初等中等教育局視学官 文化庁参事官(芸術文化担当)付教科調査官 国立教育政策研究所教育課程調査官 志民 一成	木藤 典子	静岡市立蒲原小学校
	杉浦 直美			松浦 梨野	藤枝市立青島小学校
家庭	深川 朋美	静岡大学教育学部 教授 村上 陽子	静岡市立井宮小学校 校長 片岡 明実	西ヶ谷桃香	焼津市立焼津東小学校
図画 工作	渡邊 翔太	静岡大学教育学部 教授 高橋 智子 准教授 名倉 達了 講師 占部 史人	下田市立白浜小学校 校長 土屋 大祐	外岡 奈菜	下田市立浜崎小学校
	下出 菜摘			森下佐和子	島田市立島田第四小学校
体育	河野 優人	静岡大学教育学部 准教授 野津 一浩 講師 屋代 滯	静岡市立東豊田小学校 校長 赤田 陽子	長谷川飛太	焼津市立和田小学校
	赤渕 航史			岡田 結一	富士市立須津小学校
	茂津目 遼			勝村 文哉	静岡市立清水船越小学校
全体共同研究者	早稲田大学 名誉教授 小林 宏己		静岡大学 名誉教授 村山 功		

今年度は上記の共同研究者、助言者、協力委員の方々と研究を進めています

研究主題

その子らしく学ぶ

静岡大学教育学部附属静岡小学校は「まず子どもありき」という教育観を基層に、「子どもは自らの内に伸びようとする芽をもっている」という子ども観と、「『とらえ・願い・かかわる』ことが子どものもつ芽を支えるための教師の役割である」という教師観によって日々の教育活動が支えられています。令和4年より取り組んできた研究主題『その子らしく学ぶ』も先述の教育観から生み出され、今日まで紡がれてきているものです。

過去4年間の『その子らしく学ぶ』を経て、その子が豊かに生きる未来のために私たちが目指す「学び」の在り様が子どもの姿で立ち現れてきました。授業という営みの中で子どもは単純な知識獲得の作業をしているのではなく、その子の中に生じる情動をもとに、その子ならではの情意や思考をめぐらせ判断をくり返す中で、新たな気づきを得たり、自らを見つめ直したりすることを通して「人間性の涵養につながる経験」をしていることが明らかになりました。また、その子が自身で構築していったプロセスとそこから創造した知とが一体となっている真の「学び」が見えてきました。研究発表を迎える私たちは、その一体こそが、社会の営みで生かすことのできる「学び」であり、その子の人格形成につながっていくものであると考えているに至っています。

技術の発展が進み、高度情報化社会へと進化を遂げる現代の社会では、様々なものがデータ化され視覚的に分かりやすい数値となって表されます。行動や傾向、個人の能力等、人間に関するものにおいても例外ではありません。教育現場にも人工知能等の革新的な技術が導入され、子どもの「学び」を取り巻く環境は時々刻々と変化しています。しかし、本校の子ども一人ひとりがその子らしさを露わにしながら、いきいきと語り合ったり表現し合ったりしながら熱を帯びていく姿を目にすると、一概に機械的・表面的な見方だけで子どもをとらえることなどできません。私たちが見出してきた真の『学び』は決して一面的に子どもをとらえては明らかにできないものなのです。

『その子らしく学ぶ』最終年次にあたる今年度は、国語科による大研、各教科部による教科研や研究発表会の開催を予定しています。ご参会の皆様と共に、子どもの本来の魅力や、子どもを支える教師の在り方について語り合うことができれば幸いです。多くの皆様のご参会を心よりお待ちしております。



研究部長 柴田 将弥
〔勤務校歴〕
島田市立神座小学校
島田市立五和小学校
静岡大学教育学部附属静岡小学校

【学術リポジトリのご案内】

研究総論、研究授業実践のまとめ、研究紀要などを静岡大学学術リポジトリ (SURE) にて公開しています。また本校のHPでは、研究のご案内などを随時更新していく予定です。ご興味のある方は、QRコードからご覧ください。



本校研究ホームページ



静岡大学学術リポジトリ

資料請求・問い合わせ先

静岡大学教育学部附属静岡小学校

住所 〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番94号
TEL (054)254-4666
FAX (054)254-4668
URL <http://fzk.ed.shizuoka.ac.jp/shizusho/>
E-mail osizusyo@shizuoka.ac.jp

令和8年度 静岡大学教育学部附属静岡小学校 公開授業・講演会

□大研とは、本校の全教員で検討を重ねて創り上げる授業です。
■教科研とは、教科部で検討を重ねて創り上げる授業です。

□ 大研(本時)

日時	10:15	10:35~11:20	11:30~12:30
6月19日(金)	事前説明会 開始時刻	【教科】国語 【学年】6年 【授業者】青山 千秋	語り合い 同席(助言) 小林 宏己氏

■ 教科研

日時	8:35	9:30~10:15	10:35~11:20	11:45~12:00	13:00~14:30	14:45~16:15
7月3日(金)	受付開始時刻	第2校時 公開 A	第3校時 公開 B	研究概要説明	語り合い A	語り合い B

A	教科	学年	授業者
	社会	3年	川井 空鈴
	音楽	1年	赤堀 真理
	生活	2年	住田 亮
	図画工作	5年	渡邊 翔太

B	教科	学年	授業者
	理科	3年	大箸 一貴
	算数	4年	田中 泰慈
	体育	3年	茂津目 遼

※参観・語り合いについては、A、B両グループにぜひご参加ください。(どちらかを選択して参加していただくことも可能です。)

研究発表会						
10月23日(金)	【午前】提案授業					
	教科	学年	授業者	教科	学年	授業者
	国語	6年	青山 千秋	音楽	4年	杉浦 直美
		1年	浅井 大輝	生活	1年	吉田 健人
	社会	6年	澤戸 覚	家庭	5年	深川 朋美
		4年	飯塚 亮太	図画工作	5年	渡邊 翔太
	算数	5年	渡邊 賢人	体育	2年	河野 優人
		2年	浅井 将広		3年	茂津目 遼
	理科	5年	相馬 一允			
		6年	亀山 慎二			
	【午後】事後の語り合い・講演会					
	講演会					講師:小林 宏己氏 (早稲田大学名誉教授)

□ 大研(本時)

日時	10:15	10:35~11:20	11:30~12:30
2月5日(金)	事前説明会 開始時刻	【教科】図画工作 【学年】3年 【授業者】下出 菜摘	語り合い 同席(助言) 小林 宏己氏